環境共生課　　（単位：千円）

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
環境共生保全費	5,928	5,928	5,889		（諸）　5	5,884

1　目的

環境基本法第43条に基づく環境の保全に関する基本的事項等や自然環境保全法第51条に基づく自然環境の保全に関する重要事項を調査審議するため、「高知県環境審議会」を開催するとともに、高知県環境基本条例第８条に基づき、環境の状況や環境に関する施策の実施状況等を明らかにするため、「高知県環境白書」を発行する。

また、自然環境保全の総合的な推進を図るために、環境影響評価(アセスメント)の審議等を行う。

2　内容

(1)環境企画費　（ 816千円　（一）816千円 ）

県内の環境の保全に関する基本的事項等を調査審議するため、「高知県環境審議会」の審議会及び総合部会を開催するとともに、環境の状況や環境に関する施策の実施状況等を明らかにするため、「高知県環境白書」を発行する。

委員報酬　　234千円　（審議会委員報酬、総合部会委員報酬）
その他事務費　　582千円

【環境審議会】

＜審議会関係法令＞

【国】環境基本法、自然環境保全法、温泉法、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、水質汚濁防止法

【県】環境審議会条例、環境審議会運営規程、環境審議会傍聴要領

＜審議会の現状＞

・審議会は５つの部会で構成（総合部会・自然環境部会・温泉部会・水環境部会・生活環境部会）
・審議会は年１回、各部会は随時開催
・審議会委員は23名の学識経験者及び関係行政機関職員で構成

【環境白書】

＜白書概要＞

・発行する前年度の具体的施策の取組結果や目標値の達成状況等を掲載する。
・環境基本計画やその他環境分野の個別計画における進捗状況の点検結果の報告としての機能を併せ持つ

(2)環境影響評価推進費　(615千円　(一) 615千円)

・自然環境保全の総合的な推進を図るために、環境影響評価(アセスメント)の審議等を行う。

委員報酬　270千円　(環境影響評価技術審査回委員報酬)

事務費　345千円

(3)環境共生保全事務費　(4,458千円　(一)4,453千円　(諸) 5千円)

・環境行政の円滑な推進を図るための各種連絡会議への出席や関係機関との連絡調整等の事務費

負担金　15千円　(公益財団法人日本自然保護境界負担金)

事務費　4,443千円

3　平成29年度に実施した主な事業

(1)環境審議会の開催　1回

(2)平成29年度環境白書の発行 (H30年3月発行)

・600部作成　環境審議会等の委員、地球温暖化防止活動推進員、市町村、図書館48カ所、環境関係団体等に配布

・平成29年度環境白書の構成

1　特集記事 (高知県地球温暖化対策実行計画の改定)

2　高知県の環境政策 (環境全般に関する施策：環境基本計画、環境審議会等)

3　分野別の具体的施策等 (①地球温暖化への対策、②循環型社会への取組、③自然環境を守る取組、④環境ビジネスの振興、⑤環境を守り育てる人材の育成)

4　参考資料 (林業・環境関連補助金等及び融資制度)

(3)環境影響評価技術審査会の開催　2回

・風力発電事業 (配慮書)　2件

環境共生課　　（単位：千円）

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
オフセット･クレジット推進事業費	18,000	18,000	11,509		（諸）　5,576	5,933

1　目的

地球温暖化対策を推進するために、木質燃料の利用によるCO_2排出削減量や、適正に管理された森林におけるCO_2吸収量をクレジット制度によって「見える化」、「証券化」して販売する環境ビジネスを構築し、地域産業の振興を図る。また、県産木材を用いた木造建築物や木製品の二酸化炭素固定量を認証し、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし、県産材の利用を促進する。

2　内容

(1) 高知県版 J-クレジット制度等運営事業費（5,803 千円　（－）5,803 千円）

県内の森林資源を活用した森林吸収び排出削減プロジェクトを対象とした高知県版 J-クレジット制度の運営を行い、クレジットを創出・販売することで地球温暖化対策と雇用の創出へつなげる。

委託事業：オフセット･クレジット認証センター運営等委託料

委 託 先：一般社団法人高知県山林協会（随意契約）

(2) ＣＯ２木づかい運動推進事業費（130 千円　（－）130 千円）

ＣＯ２木づかい固定量認証専門委員会を開催し認証について審査を行い、県産木材を用いた木造住宅や木造建築施設、木製品の二酸化炭素固定量を認証することで、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし県産材の利用を促進する。固定量の算出認証事務は(1)の委託で実施。

(3) オフセット・クレジット販売促進等事業費（5,576千円　（諸）5,576千円）

排出削減・森林吸収クレジットの販売促進を図るため、首都圏などで開催される環境系イベントへの出展や環境先進企業への訪問、オフセットプロバイダーへの販売委託による販売体制の強化等を行い、低炭素社会のトップランナーとしての役割を果たす。

委託事業：オフセット・クレジット市場拡大事業委託料

委 託 先：オフセットプロバイダー(随意契約)

3　平成29年度までに実施した主な事業

(1) オフセット・クレジットの発行

・木質資源エネルギー活用事業　20,257 t-CO_2

H20	H21	H22	H23	H24	H25
899 t-CO_2	1,932 t-CO_2	3,089 t-CO_2	2,534 t-CO_2	5,400 t-CO_2	6,403 t-CO_2

・森林吸収量取引プロジェクト　2,305t-CO_2（うちバッファー 68t-CO_2）

H22	H25
285 t-CO_2	2,020 t-CO_2

(2) クレジット売却状況

・累計 331件　売却等済み　9,932t-CO_2

H20	H21	H22	H23	H24
899 t-CO_2	1,742 t-CO_2	1,743 t-CO_2	1,658 t-CO_2	591 t-CO_2
H25	H26	H27	H28	H29
1,744 t-CO_2	478 t-CO_2	328 t-CO_2	413 t-CO_2	336 t-CO_2

(3) 高知県版クレジット制度のプロジェクト登録等の状況

・プロジェクト登録件数（累計）　12件　(H29:新規登録無し)

・クレジット発行量（累計）　10,444t-CO_2　(H29:新規発行無し)

・クレジット販売等量（累計）　3,311t-CO_2　(H29:154t-CO_2)

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
清流保全推進事業費	1,310	1,310	1,539		(入)589	950

1　目的

本県の恵み豊かな清流を次世代へ引き継ぐため、清流保全基本方針に基づいて策定した清流保全計画をベースに、流域住民や団体等との協働のもと、清流の保全・再生を図る。

また、企業の環境・ＣＳＲ活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のＮＰＯ等とマッチングさせることで、清流保全活動の推進と環境の保全を図る。

2　内容

(1) 物部川清流保全計画・第２次仁淀川清流保全計画の着実な推進

物部川清流保全計画及び第２次仁淀川清流保全計画の推進母体として設立した物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会を、流域住民や事業者、国や流域市町村などと協議しながら運営し、具体的な取組を進めていく。

・清流保全条例推進事業費　（ 699千円　(一)699千円 ）

①物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会委員等報償費　　360千円

②事務費（旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料）　339千円

(2) 清流保全計画の指標収集と環境学習への支援

清流保全計画に基づく取組の達成状況を把握する指標を収集するとともに、流域の小学生らが川に親しみながら、環境学習の一環として水生生物の調査などに取り組むことが出来るように支援する。

・清流保全計画指標モニタリング事業費　（ 589千円　(入)589千円 ）

①事務費（需用費）　589千円

(3) 協働の川づくり事業

森と密接な繋がりを持つ川の環境保全をテーマとし、新たな活動メニューを企画・提案することによる企業の環境・ＣＳＲ活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のＮＰＯ等とマッチングさせることで、清流保全活動の推進と環境の保全を図る。

・協働の川づくり事業費　（ 251千円　(一)251千円 ）

①事務費（旅費、需用費）　251千円

3　平成29年度に実施した主な事業の実績

(1) 物部川清流保全推進協議会の取組

・代かき時期における濁水対策の実施

・一斉清掃の実施

・清流保全活動の普及啓発等

(2) 仁淀川清流保全推進協議会の取組

・仁淀川一斉清掃の実施

・川の安全教室の実施

・仁淀川シンポジウムの開催等

(3) 協働の川づくり事業

・協働の川パートナーズ協定‥‥‥6者

（内訳　アサヒビール株式会社、高知食糧株式会社、有限会社高知アイス、株式会社あさの、株式会社伊藤園、株式会社四万十ドラマ）

環境共生課　　（単位：千円）

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
四万十川総合対策費	21,128	21,128	14,621			14,621

1　目的

四万十川の総合調整を推進するため、国や愛媛県、流域市町、関係団体、住民団体などとの連携を図り、四万十川条例に基づいて、生態系や景観、生活文化財産の保全及び地域振興との調和を図るとともに、保全と振興の実践組織である（公財）四万十川財団の事業を支援する。

2　内容

(1)流域市町と連携した生活文化財産の保全に向けての取組（重要文化的景観を活用した流域の振興）

(2)共生モデル地区における住民と行政との協働の取組（四万十くろそん会議、大正なかつか会議　他）

・四万十川流域保全振興委員会費　（ 234千円　(一)234千円 ）
（委員報酬）

・重点地域等管理費　（ 3,755千円　(一)3,755千円 ）

①四万十川流域保全振興委員会運営等委託料　1,583千円
契約方法：競争入札
委 託 先：コンサルタント等

②リーフレット作成委託料　　275千円
契約方法：随意契約
委 託 先：未定

③事務費　1,897千円
（報償費、旅費、需用費等）

・清流基準モニタリング事業費（旅費、需用費）　（ 558千円　(一)558千円 ）

(3)四万十川流域の中核的実践組織である四万十川財団の支援

・四万十川財団活動推進事業費　（ 9,950千円　(一)9,950千円 ）
（四万十川財団運営費補助金）

・事務費（120千円（一）120千円）
（報償費）

3　平成29年度に実施した主な事業の実績

(1)文化的景観連絡協議会、四万十川すみずみツーリズム連絡会等との連携による流域の振興を図る取組

(2)四万十くろそん会議、大正なかつか会議の運営による住民協働の流域振興を図る取組

(3)重点地域における四万十川条例許可制度の運用

(4)四万十川流域住民意識調査の実施

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
希少動植物保護対策事業費	27,647	27,647	30,079		(入)10,495	19,584

1　目的

県内に生息・生育する希少な野生動植物の保護を図ることにより、生物多様性の保全及び自然との共生に寄与し、健全な自然環境を将来の県民に継承する。

2　主な内容

(1)保護対策事業費（ 14,157千円　(入) 1,506千円　(一) 12,651千円 ）

高知県希少野生動植物保護条例に基づき、県内に生息、生育する希少野生動植物の保護に関する検討や対策等及び高知県うみがめ保護条例に基づく保護区の管理等を行う。

また、外来生物法による特定外来生物の拡大防止のための対策を行う。

①レッドデータブック改訂委託料（動物編）（ 2,376千円　(一) 2,376千円 ）

内　容：レッドデータブックの動物編の改訂のため、印刷・製本・販売を委託する。

委託先：県内事業者

契約方法：指名競争入札

②レッドデータブック改訂委託料（植物編）（ 9,644千円　(一) 9,644千円 ）

内　容：高知県レッドリスト及びレッドデータブックの植物編の改訂のため、野生植物の実態調査やとりまとめ等の業務を委託する。

委託先：（公財）高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

③外来種リスト作成委託料（ 1,506千円　(入) 1,506千円 ）

内　容：高知県版侵略的外来種リスト作成のための基礎調査等の業務を委託する。

委託先：（公財）高知県牧野記念財団他

契約方法：随意契約

④その他事務費（ 631千円　(一) 631千円 ）

(2)希少野生植物食害対策事業費（ 8,989千円　(入) 8,989千円 ）

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネット設置及び既設ネットの箇所のモニタリング調査等の業務を委託する。

①調査業務委託料（ 2,495千円　(入) 2,495千円 ）

内　容：ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、ヒアリング等を行い、専門的知見による防護柵設置計画を作成する。

委託先：（公財）高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

②防護柵設置業務委託料（ 1,387千円　(入) 1,387千円 ）

内　容：防護柵設置計画に基づいた柵の設置業務を行う。

委託先：県内森林組合
契約方法：随意契約
③モニタリング調査業務委託料（ 5,107千円　（入）5,107千円 ）
内　容：前年度までに設置した防護柵の効果を把握するため、モニタリングやヒアリングを実施する。
委託先：(株)西日本科学技術研究所
契約方法：随意契約

(3)生物多様性地域戦略推進事業費（ 6,933千円　（一）6,933千円　）
生物多様性基本法に基づき策定した「生物多様性こうち戦略」の推進及び進捗管理並びに改訂を行う。
①生物多様性地域戦略改訂業務委託料（ 5,993千円　（一）5,993千円 ）
内　容：平成25年度に策定した「生物多様性こうち戦略」の改訂のためのとりまとめ等の業務を委託する。
委託先：未定
契約方法：随意契約（プロポーザル方式）
②事務費（ 940千円　（一）940千円 ）
委員報酬　　216千円（環境審議会自然環境部会委員報酬）
事務費　　724千円

3　平成29年度に実施した主な事業の実績

(1) 希少野生植物の保全及び外来生物対策
県内の希少野生動植物等の保護対策及び特定外来生物等の拡大防止対策を実施。
・高知県レッドデータブック（動物編）2018改訂版原稿作成
・高知県レッドデータブック（植物編）改訂委員会開催（年２回）及び調査対象種調査
・特定外来生物「セアカゴケグモ・ヒアリ・外来植物」の行政担当者勉強会
（平成29年８月４日　43名参加）
・高知県版侵略的外来種リスト作成のための基礎調査（植物）
・注目種「アカメ」啓発チラシ作成配布：２万部印刷

(2) 希少野生植物の食害対策
ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネットの設置や既設ネットのモニタリング調査等を実施。
・調査箇所：8箇所
・防護ネットの設置：3箇所　294m延長
・既設ネットのモニタリング：全箇所（39箇所）点検、モニタリング11／39箇所

(3)生物多様性地域戦略の普及啓発
・生物多様性こうち戦略推進リーダー登録者数　23人　（平成29年度新規登録13人）
・生物多様性こうち戦略（概要版）の配布等

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
自然公園等施設整備事業費	18,557	18,557	23,866	10,213		13,653

1　目的

自然公園や長距離自然歩道（四国のみち）などの施設整備を行った箇所において、長年の使用等により老朽化したものや危険な箇所等を改修し、訪れる観光客の快適な利用や安全を確保する。

2　内容

(1)施設改修工事等の実施（23,866千円　（国）10,213千円　（一）13,653千円）

・見残園地トイレ撤去工事
・四国のみち（竜串へのみち）看板等改修工事
・四国のみち看板改修等工事
・四国のみち看板修繕工事
・四国のみちルート変更看板移設工事
・月見山こどもの森管理棟２階窓改修工事　他

3　平成29年度に実施した主な事業の実績

(1) 竜串園地遊歩道改修工事
(2) 竜串展望台撤去工事
(3) 天狗高原カルスト学習館トイレ洋式化工事
(4) 月見山こどもの森管理棟空調施設工事
(5)月見山こどもの森第１駐車場等舗装工事　他

環境共生課　　（単位：千円）

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
自然公園等管理費	17,973	16,745	15,010		（諸）4,108 （使）　9	10,893

1　目的

自然公園法及び県立自然公園条例により指定された国定公園や県立自然公園などの保護管理を充実させるとともに、公園利用の適正化を図る。

2　内容

(1)自然公園管理費（569千円　(使)9千円　(一)560千円 ）

・現地調査等に要する活動旅費等

(2)県立こどもの森管理運営費（ 9,340千円　(諸)4,108千円　(一)5,232千円 ）

①月見山こどもの森管理運営委託料（ 8,933千円　(諸)4,108千円　(一)4,825千円 ）

内　　容：県立月見山こどもの森施設の指定管理者による管理代行料

指 定 期 間：H30. 4.1～H35. 3.31（５年間）

指定管理者：情報交流館ネットワーク

②その他事務費（ 407千円　(一) 407千円 ）

(3)四国のみち管理費（4,970千円　(一) 4,970千円 ）

・四国のみち管理委託料（4,970千円　(一) 4,970千円　）

内　　容：昭和56年度から整備した長距離自然歩道（四国のみち）の維持管理に要する委託料

委　託　先：18市町村、高知市シルバー人材センター、野根山街道保存協議会

路　線　数：36ルート（延長411.0ｋｍ）

(4)自然公園指導員活動強化事業費（ 131千円　(一)131千円 ）

・自然公園指導員の活動にかかる経費

3　平成29年度に実施した主な事業の実績

(1)県立月見山こどもの森の管理運営委託

①年間利用者数　27,134人　（H30.3月末）

②道の駅やすやごめんなはり線等の施設との連携を図る事業

③地元ボランティア団体等、地域組織の活性化を図る事業

(2)四国のみち管理委託

①36ルート、411.0kmの草刈り等

環境共生課　　（単位：千円）

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
牧野植物園管理運営費	542,623	655,397	1,017,710		（使）　125 （債）575,000	442,585

1　目的

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、県民に対し憩いの場を提供するため、県立牧野植物園の管理運営を行うとともに、「世界に誇れる総合植物園」に向けた磨き上げ整備を推進する。

2　内容（平成30年度）

(1)牧野植物園管理運営費（383,947千円　(使)125千円　(一)383,822千円 ）

牧野植物園の指定管理者による管理代行料

・指 定 期 間：H28.4.1～H33.3.31（５年間）

・指定管理者：（公財）高知県牧野記念財団

・イベント等の開催

①企画展「ミャンマー大紀行～碧き回廊をゆく～」（平成29年12月９日から平成30年５月６日まで）

②ドラマティック・マキノ　～60年目の、春が来た。～（平成30年３月24日から５月６日まで）

③特別展「英国キュー王立植物園収蔵画とFlora Japonica」（平成30年６月２日から８月５日まで）

④植物スタンプラリー「牧野ボタニカル・アドベンチャー」（平成30年７月21日から９月２日まで）

ほか

(2)運営費（71,995千円　（一）6,995千円（債）65,000千円 ）

牧野植物園の管理運営に係る環境共生課の運営費

○施設の維持修繕

・設備改修工事設計委託

・設備改修工事、下水道接続工事、連絡道舗装修繕工事

○その他の運営

・指定管理者事業評価委員会の運営　ほか

(3)牧野植物園磨き上げ整備事業費（561,768千円　（一）51,768千円　（債）510,000千円）

○施設整備費

・ＶＲ等映像システム整備委託、展示館改修工事設計委託

・ファミリー園（仮称）等造成工事監理委託

・狭隘道路及び（仮称）新研究棟周辺エリア改修工事測量設計委託、地質調査委託

・ファミリー園（仮称）等造成（設備、建築を含む）工事請負　ほか

3　平成29年度に実施した主な事業の実績

(1)牧野植物園入園者数　135,089人

(2)イベント等の開催

①「Dramatic　Makino2017　～春、草木が語り出す～」（3/11～5/7（58日間）　39,268人）

②特別展「高橋宣之「横倉山」ネイチャーフォト展」（4/22～6/18（58日間）　35,209人）

③企画展「『きび』と高知のくらし」（7/15～10/9（87日間　27,218人）

④企画展「ミャンマー大紀行～碧き回廊をゆく～」（12/9～5/6）　ほか

(3) 磨き上げ整備事業

○磨き上げ整備基本構想検討委員会（平成28年8月設置）

・設置目的：基本構想の策定

・構成：有識者や地元の代表者などの委員14名及びアドバイザー1名　計15名

・検討内容（平成29年度）

・第５回（８月）：基本構想の取りまとめ

○磨き上げ整備基本構想策定（平成29年12月）

○事業（プロモーション）戦略策定委託

・ポテンシャル、ニーズ調査、分析に基づく広報戦略の策定等

○主な整備事業

・アクセス道路整備（測量設計委託、工事）

・効果・管理照明（南園及び温室）整備（測量設計委託、工事（平成29～30年度））

・ファミリー園（仮称）及びスタディ園（仮称）測量設計委託

環境共生課　　（単位：千円）

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
豊かな環境づくり総合支援事業費	5,098	5,098	4,095			4,095

1　目的

高知県環境基本計画第四次計画の目指す３つの社会づくりを実現するために、ＮＰＯや任意団体等が行う地球温暖化対策の啓発活動や河川の環境保全及び環境学習等に対して総合的に支援する。

2　内容

(1) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金（ 4,000千円　　（一）4,000千円 ）

「高知県環境基本計画第四次計画」（平成28年４月策定）において示す５つの対象分野（以下のとおり）の県内で実施される事業であり、３つの社会づくり（低炭素社会づくり、循環型社会づくり、自然共生社会づくり）を目指す取組に対して補助金を交付する。

〇補助対象事業：次に掲げる５分野に資すると認められるハード事業及びソフト事業

・地球温暖化への対策
・循環型社会への取組（３Ｒの推進等）
・自然環境を守る取組
・環境ビジネスの振興
・環境を守り育てる人材の育成

〇補助先：ＮＰＯ等（公益法人を含む）

〇補助率：定額（1団体当たりの補助金の範囲が500千円以下）

(2) 事務費　　95千円（（一）95千円 ）

3　平成29年度に実施した主な事業の実績

〇事業件数：10件

・特定非営利活動法人環境の杜こうち（500千円：こうち環境博2018）
県内の環境活動団体や企業等による体験プログラムや展示を通して、環境について楽しみながら学べる機会を提供する。

・大月町地域資源活用協議会（500千円：あにめのいろは）
地域への理解を深めてもらうことを目的に子ども達を対象としたアニメーション制作講座及び上映会を実施する。

・地域の応援隊　和（140千円：もったいない推進プロジェクト）
映画を通じて環境を考え、自分たちにできることを推進、啓発する。

ほか

環境共生課　　（単位：千円）

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
公園施設等災害復旧事業費	5,000	5,000	5,000		（債）5,000	

1　目的及び内容

自然公園区域内の施設が降雨、暴風、洪水、津波その他異常な自然現象によって被災又は破損した場合に、当該施設を原型に復旧する。

2　平成29年度に実施した主な事業の実績

対象となった災害なし

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
自然保護基金管理費 （特別会計）	1,351	1,351	1,358		（財）　211 （越）1,147	

1　目的

高知県自然保護基金条例及び高知県自然保護基金管理規則に基づき、県内の自然環境に優れた土地を取得し、自然保護を推進する。

2　内容

県が取得した土地の維持管理を行う。

3　平成29年度に実施した主な事業の実績

自然保護基金で取得した土地の維持管理を実施

環境共生課　　（単位：千円）

事　業　名	平成29年度 当初予算額	平成29年度 最終予算額	平成30年度 当初予算額	左　の　財　源　内　訳		
				国庫支出金	特 定 財 源	一 般 財 源
環境活動支援センター事業費	16,324	16,324	16,168		(入)4,200	11,968

1　目的

県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、情報発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性こうち戦略に基づく普及啓発などの事業を実施することにより、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境に優しいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ低炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指すため、環境活動支援センター（えこらぼ）を運営する。

2　内容

(1)環境活動支援センター事業実施委託料（ 16,168千円　（入）4,200千円　（一）11,968千円）

県民の環境活動を支援し、環境学習などを推進する拠点としての環境活動支援センターの運営及び普及啓発等の事業を委託する。

委 託 先：特定非営利活動法人 環境の杜こうち（プロポーザル）

委託期間：平成29年度から平成31年度（3年間）

3　平成29年度に実施した主な事業

(1)情報発信･･･ホームページの運営、メールマガジンの配信、ＳＮＳによる情報発信等

(2)環境学習支援･･･環境学習の講師派遣、環境絵日記コンテスト、こどもエコクラブ事業

(3)生物多様性こうち戦略の推進･･･推進リーダー養成講座、推進リーダー活動現場体験ツアー

(4)その他･･･地域イベントへの出展、環境学習プログラムの作成、エコ川柳など